

## 第35回 法人会全国青年の集い(佐賀大会)の報告

開催日:令和3年11月25日・26日

場 所:佐賀市文化会館

報 告:青年部会長 八木 治

### 『つなぐ 維新のちから 輝ける大切な未来へ』

この「青年の集い」は、青年部会員の研鑽や交流の場として全国各地で毎年開催されているもの。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い島根大会が中止となり、今回は各単位会の青年部会長1人ずつの参加となりました。いつもなら青年部会の仲間とワイワイ言いながら楽しく参加してきましたが、コロナ禍の中での大会はどこか淋しい雰囲気です。

しかし、今大会を開催するにあたり関係者のみなさんのご苦勞は大変なものであったと心から感謝いたします。

青年部会活動の中心柱「租税教育活動」は、440 単位会すべてにおいて実施されるまでになり、一定の目標を達成することができました。

「租税教育活動プレゼンテーション」を通じて毎年各単位会青年部会が工夫と努力を重ねてすばらしい活動を展開されていることは周知のことです。私も平成28年北海道大会の会場で発表する機会を得て仲間との強い絆と達成感を得られたことは法人会活動や地域活動、自社経営等で大きな財産となっています。

今大会で最優秀賞に選ばれた佐賀法人会のみなさんおめでとうございます。「税金を通して佐賀の未来を考えよう～もし私が佐賀県知事だったら～」は、生徒に県知事として予算を考えさせるというもので、近い将来政治を通して税金の使い道に関わっていくことを教えるものでした。

また、新たな活動の柱とする「財政健全化のための健康経営プロジェクト」は、2040年に向けたアクションプランに基づき、法人会版健康経営にいち早く取り組まれている事例について発表と表彰がありました。

自らを取り巻く社会や環境に対し工夫やアイデアを凝らした事例発表には多くの参加者が参考となるよう耳を傾けていました。我が池田法人会は、遅ればせながら青年部会活動として普及を図っているところです。

1日目の部会長サミットは、通常の円卓会議ではなく、パネルディスカッション形式で開催され、「コロナ禍の今だからこそ見直そう」と題して先駆者たちが熱い思いを述べられ、触発されて帰ってきました。

大会会場への参加は約550名と例年に比べると少なかったのですが、全国では2,500名のリモート参加者がいると聞いて全国のみなさんの熱意に頭の下がる思いとともに子供たちの明るい未来を約束するために仲間とともにしっかりと活動していきたいと思えます。

コロナとの共生は続きますが、全国から参集する機会を大切にみなさんと再開できる日を楽しみにしています。